

## 廃炉基盤研究プラットフォーム 第13回運営会議 議事録

1. 開催日時：2020年1月15日（水） 15:00-17:15
2. 開催場所：新橋ビジネスフォーラム（第一日比谷ビル8F）
3. 議題
  - (1) 前回議事録の確認
  - (2) 基礎・基盤研究の全体マップ（2020年版）について
  - (3) 英知事業・人材育成事業終了後の体制維持等の現状と計画等
  - (4) 1F廃炉を進めるうえでの研究開発課題への取り組み
  - (5) 廃炉基盤研究プラットフォームの運営見直しについて
  - (6) 各分科会活動報告
  - (7) 福島リサーチカンファレンス報告
4. 出席者  
別紙参照
5. 資料  
資料 13-1：廃炉基盤研究プラットフォーム 第12回運営会議議事録  
資料 13-2：基礎・基盤研究の全体マップ（2020年版）（案）改訂案について  
資料 13-3：人材育成事業の今後について
  - 13-3-1：平成30年度終了課題（今後の体制維持）・東大、東北大、東工大
  - 13-3-2：令和元年度終了予定課題（事業終了後の体制維持）・福井大、福島大、福島高専、地盤工学会
  - 13-3-3：令和元年度開始課題（今後の事業予定）・東大、東北大、福島大、東工大追加資料：第5回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス（NDEC-5）参加募集の案内  
資料 13-4：1F廃炉を進めるうえでの研究開発課題への取り組み（投影のみ）  
資料 13-5：廃炉基盤研究プラットフォームの運営見直しについて  
資料 13-6-1：分科会活動報告「1F事故進展基盤研究に関わる分科会」  
資料 13-6-2：分科会活動報告「特殊環境下の腐食現象の解明に関する分科会」  
資料 13-7：福島リサーチカンファレンス（FRC）について
6. 議事（敬称略）
  - (1) 前回議事録確認
    - 資料 13-1 をご確認ください。（田川）
  - (2) 基礎・基盤研究の全体マップ（2020年版）（案）改訂案について
    - JAEA 田川が、資料 13-2 を説明した。

- 質疑はなかった。
- (3) 英知事業・人材育成事業終了後の体制維持等の現状と計画等
- 東大・鈴木、東北大・渡邊、東工大・小原が、資料 13-3-1-1～3 を説明した。続いて、福井大・安濃田、福島大・高貝、福島高専・鈴木、地盤工学会・鈴木が、資料 13-3-2-1～4 を説明した。
  - 人材育成事業の拠点大学に発表頂いたが、事業終了後も継続している現状を聞き大学側の取組に感謝申し上げます。人材育成は5年で終わりではなく、10～15年と延ばしていくのが理想的であるが国の事業で実施することは難しい。そのため JAEA の補助金事業に移行し、CLADS を中核として柔軟な運用が行えるようにした。事業実施中と同規模の予算規模で事業を行うことは難しいが、5年間の成果としてこれは継続的・発展的に行うべきというものがあれば CLADS において是非検討してほしい。そのためにも CLADS に対しての要望や意見を頂きたい。(有林)
  - 特に福島で行うカンファレンス (NDEC など) は CLADS で運営して継続して頂きたい。事業が終了したので経費も出して欲しい。(安濃田)
  - 東大・鈴木、東北大・小無、福島大・高貝、JAEA・鷺谷が、資料 13-3-3-1～4 を説明した。
  - 4番目の東工大にはクロスアポイントも含まれているか。(中島)
    - 竹下先生に JAEA に来て頂くことを考えている。(鷺谷)
- (4) 第5回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス (NDEC-5) 参加募集の案内について
- JAEA 茶谷が、追加資料を説明した。
  - 昨年参加したが、貴重な場であるので早めに地元の若い方々へ周知して頂きたい。(有林)
  - 本日実行委員会でもその話が出て、宇塾先生が教育委員会へ出向いて相談するが、平日のため授業があるので検討が必要である。(茶谷)
  - 地元の方の参加も促すが、まずは学生を優先する。(實川)
- (5) 1F 廃炉を進めるうえでの研究開発課題への取り組み
- 東電・戸島が、資料 13-4 を説明した。
  - 東電が年間に研究開発にかかるコストやその内の基礎基盤研究の割合はどの程度か。(多賀谷)
    - 具体的には把握していない。(戸島)
  - 1F 廃炉現場の課題を知ろうとした場合に、どのように、あるいはどこにコンタクトしたら良いか。(有林) 問合せ先は戸島課長で良いか。(辻本)
    - 私で良い。関係部署につなげることはできる。(戸島)

(6) 廃炉基盤研究プラットフォームの運営見直しについて

- JAEA 田川が、資料 13-5 を説明した。
- 環境動態分科会は継続できた。(小山)
- 汚染機構分科会ではメールベースによる連絡に留まった。(芳賀)

(7) 分科会活動報告

- 早大・山路が資料 13-6-1 を、JAEA 山本が資料 13-6-2 を説明した。
- 特殊環境下の腐食現象の解明に関する分科会はしっかり方向性を出して継続すべきではないか。1F 事故進展基盤研究に関わる分科会も同様である。(小川)
- マップの中で重要度のみならず、他の課題と連携すべきものや複数機関で連携すべきものを分科会として新しく展開していきたい。(岡本)

(8) 福島リサーチカンファレンス (FRC) について

- JAEA 鷲谷が資料 13-7 を説明した。
- 令和 2 年度の FRC 開催予定が 4 件になっているが、楡葉遠隔技術開発センターで開催する「原子力施設における遠隔技術」が抜けており、5 件に訂正する。

以 上

## 出席者一覧（敬称略）

JAEA 以外	JAEA
鈴木 俊一（東京大）	小川 徹
渡邊 豊（東北大）	岡本 孝司
青木 孝行（東北大）	倉田 正輝
高貝 慶隆（福島大）	山本 正弘
安濃田 良成（福井大）	鳥居 建男
鈴木 茂和（福島高専）	木村 貴海
實川 資朗（福島高専）	茶谷 恵治
鈴木 誠（地盤工学会）	宮本 泰明
菱岡 宗介（地盤工学会）	若井田 育夫
山路 哲史（早稲田大学）	深堀 智生
小無 健司（東北大学）	駒 義和
芳賀 和子（太平洋コンサルタント）	小山 真一
小山 正史（電中研）	大井 貴夫
中島 節男（NDF）	
多賀谷 朋宏（NDF）	
辻本 崇紀（NDF）	
平家 明久（IRID）	
戸島 英治（東電）	
宮谷 栄一（東電）	
有林 浩二（文科省）	
千田 はるか（文科省）	
大西 隆雄（文科省）	
<事務局補助>	<事務局>
近藤 直樹（三菱総研）	鷲谷 忠博
中村 京春（三菱総研）	田川 明広
戸部 龍一郎（エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ）	脇元 裕司
落合 孝正（エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ）	